ひとのときを、想う。 JT

■株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
公告の方法	電子公告 当社ホームページ（下記URL）に掲載 http://www.jti.co.jp/ ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載
株主名簿管理人・特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 （事務取扱場所） 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 （お問い合せ先　郵便物送付先） 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 フリーダイヤル　0120-232-711 （受付時間　土・日・祝日を除く　9:00～17:00） （特別口座に関する手続用紙のご請求） 特別口座をご利用の株主様の住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、特別口座管理機関のフリーダイヤル（0120-244-479）で24時間承っておりますので、ご利用ください。
株式の諸手続き	口座を開設されている証券会社までお問い合せください。

日本たばこ産業株式会社
〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル
電話:03-3582-3111
http://www.jti.co.jp/

FSC ミックス品 FSC認証林及び管理された森林からの製品グループです www.fsc.org Cert no.SA-COC-001365 © 1996 Forest Stewardship Council
PRINTED WITH SOY INK
この業績報告書は森林保護につながるFSC認証紙（無塩素漂白）を使用するとともに、大豆油インキを使用しています。

株主の皆様へ

JT 業績報告書

Vol.27

contents

2010年3月期（2009年度）第2四半期決算のご報告

旅路の先で出会う温故知新
堺HAMONOミュージアム

JTグループ企業のご紹介
株式会社加ト吉

植林／森林保全活動
「JTの森　鶴岡」で活動開始！

バレーボール
2009／10V・プレミアリーグ開幕！

株主優待商品のご紹介

ニュース掲示板

JTグループ商品のご案内
●ルーツ「アロマブラック ホットブレンド」 リニューアル
●ルーツ「リアルブレンド ロイヤルミックス」 新発売
●「讃岐麺一番 肉うどん」 リニューアル
●「ごっつ旨い お好み焼」 リニューアル

株式の諸手続きについて

ひとのときを、想う。 JT

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より当社の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

世界的な景気後退により、企業収益の大幅な低下や雇用情勢の急速な悪化等厳しい事業環境が続く中、2010年3月期の業績予想については当初見込を見直し、EBITDA(営業利益＋減価償却費)、営業利益、経常利益、当期純利益を上方修正いたしました。これは、主に海外たばこ事業において、為替が当初の前提よりは当社に有利に推移していることによります。

2010年3月期第2四半期決算は、国内たばこ事業における販売数量の減少及び海外たばこ事業における為替影響により減収減益となりましたが、国内たばこ事業につきましては、3年連続のシェア上昇に向け、業績はほぼ想定どおりに推移しております。一方海外たばこ事業につきましては、主力のグローバル・フラッグシップ・ブランド（GFB）は1.8%成長し、ロシア、イギリス、イタリア、スペイン、トルコなどの主要市場において単価上昇効果もあったことから、昨年と為替が一定であれば税抜売上高は9.1%成長、EBITDAは11.7%成長とビジネス自体は堅調に推移しております。

医薬事業につきましては、現在自社開発品9品目が臨床試験の段階にありますが、糖尿病治療薬の「JTT-654」が海外でフェーズ2にステージアップするなど、世界に通用する画期的な新薬の創出に向け順調に進展しております。引き続き、後期開発品の充実、研究開発パイプラインの強化に注力してまいります。

食品事業につきましては、当社傘下で加工食品事業及び調味料事業を担う「株式会社加ト吉」の社名を、2010年1月より「テーブルマーク株式会社」へ変更し、事業のさらなる発展を目指してまいります。社名変更後も引き続き変わらぬご愛顧のほどをお願いいたします。

今後ともブランドに対する投資を積極的に行い、必要な施策を着実に実行し、将来の飛躍につながる事業基盤の確立にまい進してまいります。株主の皆様におかれましては、当社の事業運営につきまして、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年11月
代表取締役社長

木村　宏

2010年3月期（2009年度）第2四半期決算のご報告

2010年3月期（2009年度）第2四半期決算の概要

2010年3月期第2四半期決算は、表1のとおり、減収減益となりました。国内たばこ市場において総需要が縮小していることを受け販売数量が減少したこと、海外たばこ事業において為替のマイナス影響があったことにより、税抜売上高は前年同期比13.5%減収の9,867億円、EBITDA（営業利益＋減価償却費）は、前年同期比19.1%減益の2,793億円、営業利益は前年同期比20.0%減益の1,637億円となりました。経常利益は、為替差損益の改善及び支払利息の減少によって営業外損益が改善したことから、営業利益と比べ減益幅は縮小し、前年同期比10.7%減益の1,351億円となりました。また、四半期純利益は、前年発生した廃止社宅等の取壊し撤去費用を含む関連損失及び成人識別たばこ自販機導入費用がなくなったことによる特別損益の改善等があったことから、前年同期比4.9%減益の660億円となりました。

表1　2010年3月期第2四半期決算　（単位：億円）

	2009年3月期第2四半期実績	2010年3月期第2四半期実績	増減
税込売上高	34,970	30,542	-12.7%
税抜売上高※1	11,413	9,867	-13.5%
EBITDA※2	3,453	2,793	-19.1%
営業利益	2,045	1,637	-20.0%
経常利益	1,513	1,351	-10.7%
四半期純利益	694	660	-4.9%

※1　たばこ税、国内たばこ事業における輸入たばこ・国内免税・中国事業・その他及び海外たばこ事業における物流事業・PB・製造受託・その他を控除
※2　EBITDA＝営業利益＋減価償却費　キャッシュフロー・ベースの利益

参考：のれんの償却影響を除く主要利益

営業利益	2,578	2,133	-17.3%
経常利益	2,046	1,847	-9.7%
四半期純利益	1,227	1,156	-5.8%

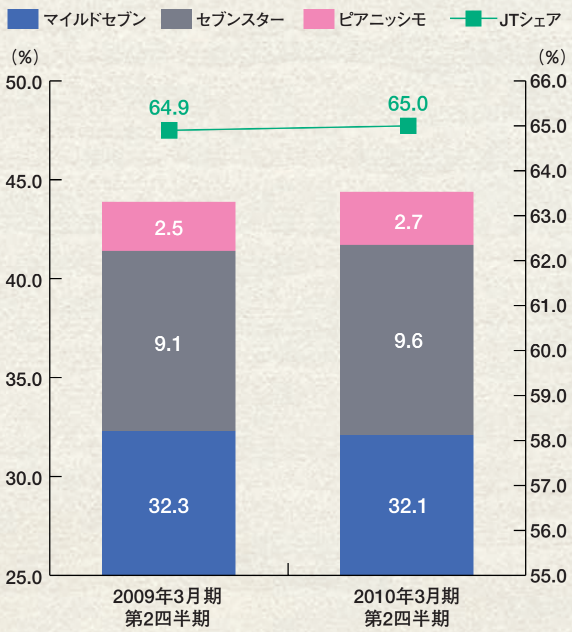
各事業の概要

国内たばこ事業

国内たばこ事業の上期の販売数量は対前年5.2%減少となりました（通期見込では4.6%の減少を想定）が、これには、「taspo」（タスポ）導入時に発生した前年の一時的な販売数量増加の影響が含まれています。この影響は通年では解消すると見込んでおり、通期見込に沿った実績となったと考えています。EBITDAについては、コストの減少等があったものの、売上高の減少を受け減益となりました。営業利益は、一部商標権の償却終了に伴う費用の減少があったことから、増益となっています。

シェアについては、前年上半期との比較では、0.1%ポイントの上昇と好調を維持しています。今後もマイルドセブン・ファミリーを中心とした主力ブランドの販促施策及びコンビニエンスストア等の対面販路での露出強化を図ることにより、3年連続のシェア上昇を目指します。

■図1　JT主要ブランド及びJT製品の市場シェア



■表2　国内たばこ事業実績

（単位：億円）

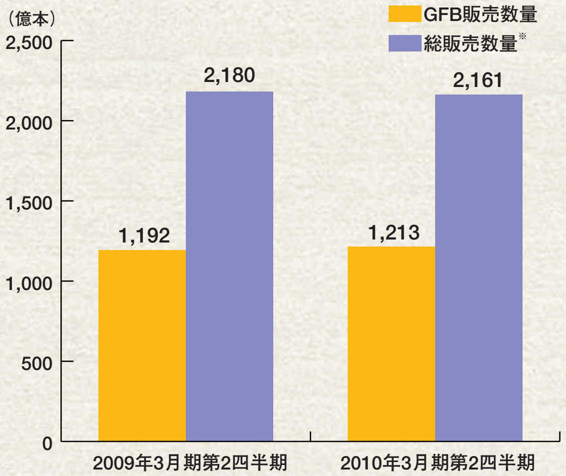
	2009年3月期第2四半期実績	2010年3月期第2四半期実績	増減
税抜売上高※1	3,363	3,188	-5.2%
EBITDA※2	1,455	1,388	-4.6%
営業利益	1,056	1,108	5.0%
JT販売数量（億本）※3	829	786	-5.2%

※1　たばこ税、輸入たばこ・国内免税・中国事業・その他を控除
※2　EBITDA＝営業利益＋減価償却費　キャッシュフロー・ベースの利益
※3　輸入たばこ・国内免税・中国事業を控除

海外たばこ事業

海外たばこ事業の2009年1-6月期の販売数量については、ロシア、イギリス、フランス、イタリア、トルコ、韓国等において順調に成長したものの、フィリピンにおいてライセンス契約から製造委託へ切り替えたことに伴う影響や、イランにおける不安定な事業環境の継続、ウクライナ、ルーマニア及びカザフスタン等の一部新興国における増税・経済減速の影響により、総販売数量は0.9%減の2,161億本、グローバル・フラッグシップ・ブランド（GFB）の販売数量は1.8%増の1,213億本となりました。税抜売上高及びEBITDAについては、為替のマイナス影響を受け、減収減益となりましたが、為替中立ベース（前年と為替水準が同じ場合）では、各市場における単価上昇効果により、税抜売上高は9.1%成長、EBITDAは11.7%の2桁成長となり、引き続き力強い成長モメンタムを維持しています。

■図2　海外たばこ事業販売数量実績



※ PB、製造受託を除き、シガー／パイプ／スヌース（かみたばこ）込み
（注）海外たばこ事業実績は1-6月期を連結

●2009年1-6月期 地域別販売実績※

	総販売数量	GFB販売数量
南欧・西欧	+0.4%	+2.4%
北欧・中欧	+6.5%	+5.0%
CIS+	−1.8%	+3.7%
その他地域	−2.7%	−2.2%

※ PB、製造受託を除き、シガー／パイプ／スヌース（かみたばこ）込み
※ 対前年同期販売数量成長率

■表3　海外たばこ事業実績

（単位：百万ドル）

	2009年3月期第2四半期実績	2010年3月期第2四半期実績	増減
税抜売上高※1	5,096	4,552	-10.7%
EBITDA※2	1,860	1,505	-19.1%
販売数量（億本）※3	2,180	2,161	-0.9%
GFB販売数量（億本）※3	1,192	1,213	1.8%

参考：前年の為替レートを使用した場合の実績

（単位：百万ドル）

	2009年3月期第2四半期実績	2010年3月期第2四半期実績	増減
税抜売上高※1	5,096	5,561	9.1%
EBITDA※2	1,860	2,078	11.7%

※1　たばこ税、物流事業、PB、製造受託・その他を控除
※2　EBITDA＝営業利益＋減価償却費　キャッシュフロー・ベースの利益、JTへのロイヤリティ支払い前
※3　PBを除き、シガー／パイプ／スヌース（かみたばこ）込み

各事業の概要

医薬事業

医薬事業については、売上高は46億円減収の221億円、EBITDAは51億円悪化し49億円の赤字となりました。グループ会社の鳥居薬品(株)において抗HIV薬「ツルバダ錠」や制吐剤「セロトーン」等の売上が伸張したことに加え、3月に販売を開始した血液透析患者における経口そう痒症改善剤「レミッチカプセル」が順調に推移したものの、前年同期はロシュ社へ導出した脂質異常症治療薬「JTT-705」の開発の進展に伴うマイルストーン収入があったため、減収減益となりました。一方、臨床開発品目のうち、糖尿病治療薬の「JTT-654」が海外でフェーズ2に進みました。今後とも臨床開発品の着実なステージアップと研究開発パイプラインの充実を図っていきます。

■医薬事業　臨床開発品目（2009年10月29日現在）

開発名	開発段階	主な適応症	詳　細	権　利
JTT-705（経口）	国内：Phase2	脂質異常症	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-130（経口）	国内：Phase2 海外：Phase2	脂質異常症	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる	
JTK-303（経口）	国内：Phase1	HIV感染症	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-302（経口）	海外：Phase2	脂質異常症	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	
JTT-305（経口）	国内：Phase2	骨粗鬆症	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する	米国メルク社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTS-653（経口）	国内：Phase1	鎮痛、過活動膀胱	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する	
JTT-654（経口）	国内：Phase1 海外：Phase2	2型糖尿病	HSD-1の働きを阻害することにより、過剰なグルココルチコイド作用を抑制する	
JTK-656（経口）	海外：Phase1	HIV感染症	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	
JTT-751（経口）	国内：Phase2	高リン血症	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導入（鳥居薬品と共同開発）

食品事業

食品事業については、売上高は326億円減収の2,008億円、EBITDAは49億円増益の84億円となりました。チルド加工食品からの撤退及び一部子会社を連結対象外としたことに加え、景気後退に伴う消費低迷影響及び飲料事業における天候不順の影響を受けたことから、減収となりました。一方EBITDAは経費削減等の効果により実質的に前年とほぼ同水準を維持した上で、会計基準変更影響により増益となりました。今後も飲料事業、加工食品事業、調味料事業の3分野に注力し、最高水準の安全管理に向けた取り組みを推進するとともに、将来の飛躍的な成長に向けた基盤強化に努めていきます。

「2010年3月期（2009年度）業績予想」

2010年3月期（2009年度）の業績予想については、主に海外たばこ事業における為替前提の見直しにより売上高、利益指標を上方修正します。国内たばこ事業については当初見込どおりに進捗しており、売上高、EBITDAの変更はありません。海外たばこ事業については、為替の前提を変更したことにより、売上高、EBITDAを上方修正しました。前年と為替が一定の場合のEBITDAは13.0%の2桁成長を見込んでいます。医薬事業については、グループ会社の鳥居薬品(株)の好調により売上高及びEBITDAを上方修正しています。食品事業については、売上高、EBITDAともに下方修正しています。

■表4　2010年3月期業績予想

（単位：億円）

	2010年3月期業績予想 当初見込	2010年3月期業績予想 第2四半期時見込	増減	2009年3月期実績
税込売上高	60,000	60,900	900	68,323
税抜売上高※1	19,850	19,740	-110	22,436
EBITDA※2	4,750	5,050	300	6,462
営業利益	2,440	2,720	280	3,638
経常利益	2,270	2,350	80	3,075
当期純利益	1,000	1,080	80	1,234

※1　たばこ税、国内たばこ事業における輸入たばこ・国内免税・中国事業・その他及び海外たばこ事業における物流事業・PB・製造受託・その他を控除

※2　EBITDA＝営業利益＋減価償却費　キャッシュフロー・ベースの利益

参考：のれんの償却影響を除く当期純利益

当期純利益	1,970	2,050	80	2,289

●将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

(1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
(2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
(3) 国内外の訴訟の動向
(4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
(5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
(6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
(7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
(8) 国内外の経済状況
(9) 為替変動及び原材料費の変動

連結財務諸表

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	前連結会計年度末（2009年3月31日）	当第2四半期末（2009年9月30日）	増減金額
資産の部			
流動資産	1,095,682	1,224,760	129,078
固定資産	2,784,121	2,823,901	39,780
有形固定資産	668,742	668,665	△ 77
無形固定資産	1,831,843	1,894,173	62,329
のれん	1,453,961	1,480,329	26,367
商標権	347,372	383,721	36,349
その他	30,509	30,121	△ 387
投資その他の資産	283,534	261,063	△ 22,471
資産合計	3,879,803	4,048,662	168,858

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

海外たばこ事業における葉たばこ価格上昇及び買付量の増による原材料の増加や休日影響による売掛金の増加によるものです。

為替の影響により、資産、負債の期末評価額が増えました。

（単位：百万円）

科　目	前連結会計年度末（2009年3月31日）	当第2四半期末（2009年9月30日）	増減金額
負債の部			
流動負債	1,093,403	1,131,984	38,581
固定負債	1,162,111	1,172,012	9,901
負債合計	2,255,514	2,303,997	48,482
純資産の部			
株主資本	1,986,810	2,026,064	39,253
評価・換算差額等	△ 433,997	△ 353,977	80,020
新株予約権	364	394	29
少数株主持分	71,109	72,183	1,073
純資産合計	1,624,288	1,744,664	120,376
負債及び純資産合計	3,879,803	4,048,662	168,858

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

有利子負債の返済が進む一方、コマーシャル・ペーパーの発行及び海外の一部市場で支払タイミングの影響で未払たばこ税が増加したことによるものです。

有利子負債の返済が進む一方、国内債を発行したことによるものです。

為替の影響により、評価・換算差額等に含まれる為替換算調整勘定のマイナス幅が縮小しました。

連結損益計算書

（単位：百万円）

科　目	前第2四半期（2008年4月1日から 2008年9月30日まで）	当第2四半期（2009年4月1日から 2009年9月30日まで）	増減金額
売上高	3,497,087	3,054,254	△ 442,832
売上原価	2,846,037	2,494,239	△ 351,798
売上総利益	651,049	560,015	△ 91,034
販売費及び一般管理費	446,464	396,287	△ 50,176
営業利益	204,584	163,727	△ 40,857
営業外収益	11,450	7,722	△ 3,728
営業外費用	64,649	36,317	△ 28,332
経常利益	151,385	135,133	△ 16,252
特別利益	22,946	14,457	△ 8,489
特別損失	35,574	12,158	△ 23,416
税金等調整前四半期純利益	138,757	137,432	△ 1,325
法人税等	66,596	68,147	1,551
少数株主利益	2,681	3,216	534
四半期純利益	69,479	66,068	△ 3,411

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

国内たばこ事業における総需要の減少に伴う販売数量の減少、海外たばこ事業における為替のマイナス影響により減収となりました。

国内たばこ事業における一部商標権の償却終了に伴う減価償却費の減少があったものの、売上高の減少を受け、減益となりました。

為替差損及び支払利息の減少により営業外損益が改善したものの、営業利益の減少を受け経常利益は減益となりました。

前年同期における廃止社宅等の取壊し撤去費用を含む関連損失及び成人識別たばこ自販機導入費用が当期には計上されなかったものの、経常利益の減少を受け、四半期純利益は減益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科　目	前第2四半期（2008年4月1日から 2008年9月30日まで）	当第2四半期（2009年4月1日から 2009年9月30日まで）	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	140,643	105,179	△ 35,463
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 28,598	△ 39,578	△ 10,979
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 135,423	△ 93,914	41,508
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 16,572	10,015	26,587
現金及び現金同等物の増減額	△ 39,950	△ 18,298	21,652
現金及び現金同等物の期首残高	215,008	167,257	△ 47,750
現金及び現金同等物の四半期末残高	175,057	148,959	△ 26,098

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

たばこ事業により安定したキャッシュフローを創出しています。

コマーシャル・ペーパー及び社債を発行する一方、前年に引き続き有利子負債の返済を進めています。

旅路の先で出会う **温故知新**

『堺HAMONOミュージアム』［大阪府］

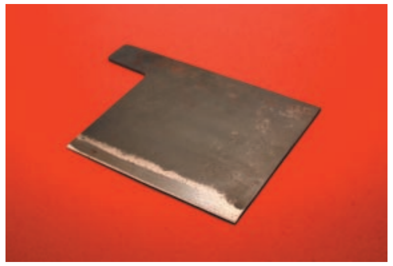
“鉄砲鍛冶”に端を発する 切れ味抜群の「たばこ包丁」

江戸時代にたばこの葉を刻む道具として用いられていた“たばこ包丁”。このたばこ包丁作りから端を発し、現在でも包丁やはさみなどの刃物の製作を盛んに行っているのが大阪府堺市です。ここで刃物作りが発展した背景には、江戸時代に興った喫煙文化の流行がありました。

かつての自治都市であり、商工業都市としても栄えていた堺の産業の要は、戦乱において欠かすことのできない火縄銃（＝鉄砲）の生産でした。戦国時代から安土桃山時代にかけての絶え間ない戦乱の中では火縄銃が武器として必要不可欠なものであり、これを製作する鉄砲鍛冶の仕事が隆盛を極めていたからです。しかし、江戸時代に入り平穏な時代が訪れると火縄銃の需要は減り、多くの鍛冶職人たちが職を失うことになりました。

この失業対策の一環として鍛冶職人たちが始めたのが、刃物作りです。当時は喫煙文化が流行・定着し始め、葉たばこを刻むための包丁の需要が高い時でした。これに目を付けた堺の職人たちは、たばこ包丁作りに鉄砲鍛冶の技術を応用。やがて江戸幕府が“堺極（さかいきわめ）”の名を附した堺産のたばこ包丁を専売に指定したことで、日本全国に堺の刃物作りの評判が広まることになったのです。

このように刃物産業の名声を博してきた堺。その刃物作りの歴史を紹介しているのが、『堺HAMONOミュージアム』です。鉄砲鍛冶の技術を受け継いだ包丁類を見ることで、“堺刃物”の伝統とともに、江戸時代を中心に開花した喫煙文化に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



天正年間（1573〜1593）頃から製作され始めた“たばこ包丁”。堺刃物が全国に広まった理由の一つとして、この包丁を徳川幕府が専売品にしたことが挙げられる

刃物を製作するためのアイテムを陳列。同館では週末に要予約でワークショップが行われ、刃物作りの仕上げの工程＝刃付けが体験できる

火縄銃の展示スペース。堺刃物のルーツである鉄砲鍛冶の歴史的背景に関しても詳しく解説されている

「南宗寺　山門」 写真提供：堺市

「たばこ包丁鍛冶の灯篭」

歴史とのかかわりが深い町といわれる大阪府堺市。一番有名なものとして、墓域面積が世界最大の“仁徳天皇陵”を有する百舌鳥古墳群があります。その他にも、同地にある南宗寺は、茶の湯の一様式である“わび茶”を完成させた千利休が修行を行った寺院として有名。境内には国の重要文化財である仏殿や山門が残されています。加えて、『堺HAMONOミュージアム』に程近い宿院の交差点には、江戸時代にたばこ包丁の製作に従事した鍛冶職人たちが住吉大社に寄進した石灯篭が鎮座しており、永きに及ぶ堺の刃物の歴史と、鉄砲から刃物作りに転換した職人たちの心意気を感じることができます。

■堺HAMONOミュージアム

●所在地
〒590-0941
大阪府堺市堺区材木町西1-1-30
（阪堺線「妙国寺前駅」から、徒歩3分）

●お問い合せ先
072-227-1001

●開館時間
10：00〜17：00

●休館日
毎週火曜日
年末年始、お盆

●入館料
無料

http://www.sakaihamono.or.jp/museum01.html

株式会社加ト吉　KATOKICHI

(株)加ト吉は、「一番大切な人に食べてもらいたい」という想いのもと、「お客様においしく、安心してお召し上がりいただける」商品づくりを進めています。2008年7月に日本たばこ産業(株)(JT)食品事業部門との事業統合を行い、これまで双方が強みとしていた経営資源の相互補完を図ることで、さらなる飛躍に向けた成長の基盤を構築しています。2010年1月からは、社名を「テーブルマーク(株)」に変更し、引き続き最高水準の安全管理を推進するとともに、「お客様支持率No.1」の食品メーカーを目指していきます。

JT食品事業の注力分野を担う加ト吉グループ

さまざまな食シーンにおいて、個性豊かな商品をお届けする加工食品事業

国内最大級である冷凍食品の分野においては、「冷凍うどん」をはじめとするトップシェアの商品を数多く取り揃え、お客様の多様なニーズにお応えするとともに、家庭用冷凍食品のみならず業務用冷凍食品も積極的に展開しています。

一方、常温食品の分野にも注力しており、「無菌包装米飯」等の拡販に努めています。

また、ベーカリーの分野では、(株)サンジェルマンにおいて、独自技術を活用した付加価値の高いパンの開発・販売を進めています。こうした分野ごとのさらなる強化を図るとともに、今後もより一層のおいしさを追求していきます。

独自の高い技術力を活かし、「新しい日本の味づくり」に取り組む調味料事業

調味料事業においては、天然素材由来の調味料の事業基盤の強化・拡大を図りつつ、組立型調味料の開発に取り組んでいます。

天然素材調味料では、独自技術を活用した高付加価値型酵母エキスや優良原料を使用した昆布・カツオなどの抽出エキスの生産・拡販に注力しています。

また、組立型調味料では、食のパイオニアとして常に時代をリードしてきた調味料メーカーである富士食品工業(株)において、和洋中を問わず幅広く使える豊富な商品を開発しています。

最高水準の安全管理の推進

食の安全管理強化に向けた取り組み

(株)加ト吉では、最高水準の安全管理を推進すべく、グループ一丸となって「リスク低減に向けた取り組み」「お客様への対応の強化」「組織・体制の強化」を3つの柱とした抜本的な強化策を展開しています。

これまで、厳格な工場監査・検査機能の強化・ISO22000の取得・お客様相談センターの365日体制確立・主な原材料産地等の情報公開などを推進し、中国においては、中国製品全般の品質管理業務を担う「中国品質管理センター」を設立することで、工場や商品等のチェック体制を強化してきました。

また、さらなる食の安全管理の強化を図るため、研究開発及び商品開発拠点である「食品開発センター」と同じ敷地内に「東京品質管理センター」を新設しました。

これからも、品質管理機能と研究開発・商品開発機能との連携をさらに強化することで、商品の企画・開発の段階からこれまで以上に安全管理に十分配慮した取り組みを推進し、「お客様においしく、安心してお召し上がりいただける」商品づくりを進めていきます。

会社沿革

1956(昭和31)年	冷凍水産品の製造販売を目的として加ト吉水産(株)を設立
1962(昭和37)年	冷凍エビフライの製造開始
1964(昭和39)年	商号を(株)加ト吉に変更
1974(昭和49)年	冷凍うどんの製造・販売を開始
1984(昭和59)年	大阪証券取引所市場第二部に株式上場
1986(昭和61)年	東京証券取引所市場第二部に株式上場
1987(昭和62)年	東京、大阪両証券取引所市場第一部に指定
1996(平成 8)年	無菌包装米飯の量産体制を確立
2000(平成12)年	加ト吉・JTで冷凍食品分野における業務提携
2008(平成20)年	1月　JTの子会社となる 7月　JTの加工食品事業・調味料事業を統合
2010(平成22)年	1月　商号を「テーブルマーク(株)」に変更(予定)

主要事業ポートフォリオ

加工食品事業

冷凍食品

【家庭用冷凍食品】

【業務用冷凍食品】

ベーカリー

常温食品

調味料事業

市販用

業務用

水産事業

その他事業

KATOKICHI CO., LTD

2010年1月より「(株)加ト吉」は「テーブルマーク(株)」へ

(株)加ト吉は、2010年1月1日付けで、社名をテーブルマーク(株)(英文表記:TableMark Co.,Ltd)に変更します。

新社名は、加ト吉のビジネスの原点である「一番大切な人に食べてもらいたい」という想いのもと、お客様により身近なものをモチーフに検討を行った結果、そのコンセプトとして、食の舞台である“食卓”がふさわしいと考えました。加ト吉は、この“食卓”を新しい旗印として定め、食の世界での中心的存在、すなわち、「時代のニーズを見据えた食の可能性を追求し、笑顔があふれる食卓の“トレードマーク”」でありたいという意思とともに、「お客様支持率No.1の食品メーカーに向け最大限の努力を行う」という誓いの気持ちを込めました。

なお、主力商品であるうどんをはじめとする市販用冷凍麺、冷凍お好み焼、冷凍たこ焼、無菌包装米飯等においては、引き続き「カトキチ」を商品ブランド名として活用し、お客様からの高い認知度・ご支持に一層磨きをかけていきます。

引き続き、最高水準の安全管理を推進するとともに、お客様支持率No.1の食品メーカーを目指してまい進します。

■新しい社名の由来・コンセプト

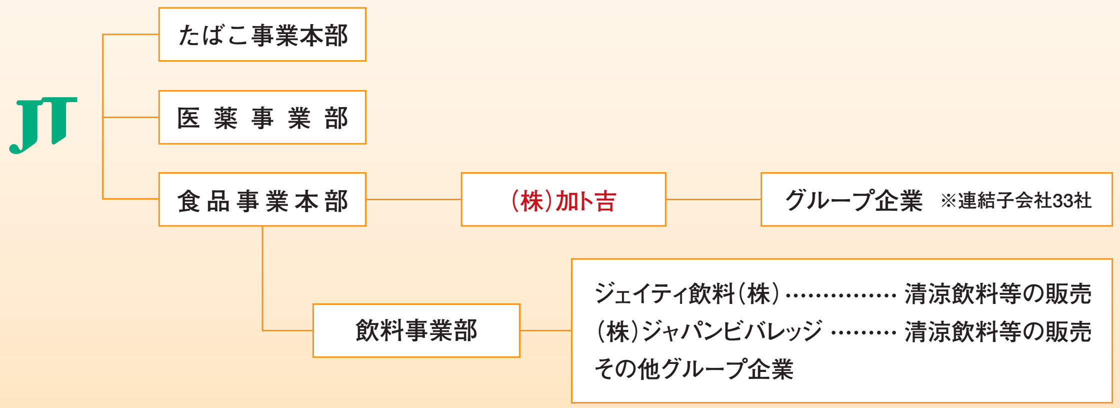
英語で、「食卓、食事、ごちそう、料理、テーブルを囲む人々」を意味する**Table**と、「印、目印」という意味を持つ**Mark**を付けることで、笑顔あふれる食卓へ様々な商品を提供するという想いを表現しました。
頭文字の**T**は、
Traceability(追跡可能性) **Taste**(味覚) **Trendy**(流行の先端をゆく)
という3つの意味を併せ持ち、
これら3つを**Able**(することができる) 企業でありたいとの想いも込めています。

■新ロゴマーク

ハーベスト・オレンジ・カラーを基調に、
食卓のテーブルクロスに見立ててデザインしました。
テーブルクロス上に様々な商品をお届けしたい
という想いを表現しています。

会社概要	●会　社　名：株式会社加ト吉 ●本　　　社：〒768-0067　香川県観音寺市坂本町5-18-37 東京本社：〒104-0045　東京都中央区築地6-4-10　カトキチ築地ビル ●設　　　立：1956年9月1日 ●資　本　金：475億263万円 ●売　上　高：2,273億円（2009年3月期　単純合算ベース） ●代表者名：代表取締役社長　山田 良一 ●従業員数：1,135名（2009年6月末現在）
事業内容	●冷凍食品、冷凍水産品、その他食料品の製造・販売
URL	●http://www.katokichi.co.jp/

■JTグループ組織図



KATOKICHI CO., LTD

「JTの森　鶴岡」で活動開始！

2009年9月、「JTの森　鶴岡」（山形県鶴岡市）で、第一回目となる植林／森林保全活動を実施しました。「JTの森　鶴岡」は、JTが自然環境保全の取り組みとして国内で進めている植林／森林保全活動「JTの森」としては8か所目、東北地区では初の活動となります。

人々の暮らしや農地を守る砂防林の機能向上を目指して

鶴岡市は山形県西部に位置し、平野、海岸部、山岳と多様な自然環境を有しています。日本海に面した庄内砂丘では、海側からの強風、飛砂（ひさ）など厳しい自然から暮らしや農作物を守るため、約300年前から海岸に砂防林を植え育ててきた歴史があり、現在はメロン栽培や米作などが盛んな農業地帯となっています。

「JTの森　鶴岡」の協定の対象となっているのは山形県有林、鶴岡市有林と民有林の3か所、約25haの海岸砂防林。いずれも戦後造成されたクロマツが主体となっていますが、松林の老木化や疎林化、樹高が高くなりすぎたことによる農作物への日照の影響、また病害虫である松くい虫による松枯れ被害や、ニセアカシア（外来植物）の繁茂などによる森林の荒廃が進行しており、早急な手入れが必要とされています。このためJTでは、暮らしや農地を守る砂防林としての機能を高める活動に取り組むとともに、訪れた方が森林と親しむことができる環境保全林づくりを目指し、今年度から5年間にわたり、地域と協働で植栽や保育などの森林整備に取り組んでいきます。

整備前の砂防林の様子。ニセアカシアや雑草が入り込んでいるほか、つる性の植物に巻きつかれてクロマツの成長が妨げられています

3月に山形県庁で行われた「JTの森　鶴岡」森づくり協定締結式の様子。左から鶴岡市・富塚陽一市長、JT・住川雅明副社長、山形県・吉村美栄子知事、下川生産森林組合・阿部富太郎組合長理事

「JTの森　鶴岡」概要

- ●実 施 地：山形県鶴岡市下川字龍花崎、七窪
- ●面　　積：24.7ha（山形県有林、鶴岡市有林、民有林の3か所計）
- ●活動内容：植栽、下刈、除伐、断幹、防風柵設置など
- ●協　　定：山形県、鶴岡市、下川生産森林組合、JT
- ●整備委託：出羽庄内森林組合　その他、社員ボランティアによる作業も実施

みんなで守れ！クロマツ砂防林

9月19日、鶴岡市を中心とした地域の方々とJTグループ社員などが参加し、第1回目の森林保全活動が行われました。当日は、鶴岡市内はもとより、山形県、宮城県、岩手県からもボランティアが参加。作業指導や運営スタッフも含め、海岸砂防林の保全を願う約190名の有志が集まりました。

今回の作業は除伐。クロマツの成長を妨げるニセアカシアや雑草、つるなどを刈る作業です。ボランティアは初めてという方も多く、山形県や森林組合、ボランティアリーダーの方々に作業を教わりながら約3haの整備に汗を流すと、作業後には、森の中が見違えるように明るくなりました。

「JTの森　鶴岡」2009年秋　活動レポート

「ニセアカシアは必ず切ってください。常緑樹は適宜残すように！」

クロマツの成長を邪魔するニセアカシアを伐採。倒木に気をつけて！

あちらこちらに絡まるつる植物。なかなか手ごわい…

刈り取られた木や枝が次々と運び出されてきます

きれいになった森の前で記念撮影。みんないい笑顔です

雑草木の除去が進んで、森林内に光が差し込みました

森の中ではいろいろな生きものとの出会いが！

JTの植林／森林保全活動

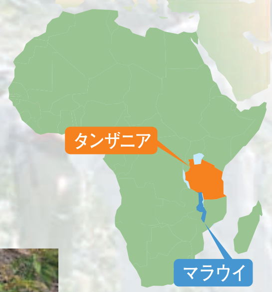
JTは、事業を支えてくれる自然への感謝の想いと企業責任を果たす観点から、国内外で植林／森林保全活動に取り組んでいます。国内では、地域の方々のニーズに沿った森林再生計画のもと、不足している森林の手入れを支援する活動を実施しています。海外では、アフリカ有数の葉たばこ産地であるマラウイとタンザニアにおいて、植林や天然森林の保全を行うとともに、木材消費量の低減や安全な水の確保、公衆衛生の向上などにも計画的に取り組んでいます。

■国内

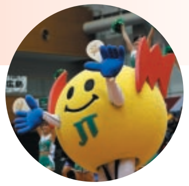
JTの森所在地

※2009年9月現在

■海外



両国では2年間で約770万本の苗木を植林しました



2009／10V・プレミアリーグ開幕!

★女子 11／28（土）～　★男子 12／5（土）～

国内のバレーボールのトップチームが頂点を競う「V・プレミアリーグ」が今年もいよいよ開幕。JTサンダーズ、JTマーヴェラスの両チームもリーグ初制覇に向け、熱い戦いを繰り広げます！

最高の勇気を。最大の感動を。

チーム一丸となって熱戦に挑む!

JTサンダーズ

V・サマーリーグで大会三連覇を達成し、勢いに乗るJTサンダーズ。主将・徳元選手、昨年度のV・プレミアリーグで得点王に輝いたゴメス選手、守りの要となるリベロ・酒井選手らを軸に、若手・中堅・ベテランが結束して、約5か月間に及ぶV・プレミアリーグを戦い抜きます。

JTサンダーズ　検索

コンビネーションバレーでリベンジ!

JTマーヴェラス

最高の輝きを。最大の感動を。

昨年度のV・プレミアリーグで成績が振るわなかったJTマーヴェラスは、その悔しさを原動力にチーム力を強化。全日本での活躍も注目されるセッター・竹下選手や新生エースの坂下選手、新主将・位田選手を中心に、持ち前のコンビネーションバレーで上位進出を目指します。

JTマーヴェラス　検索

バレーボール教室

JTサンダーズ、JTマーヴェラスでは、多くの方々ともっとスポーツの楽しさ、おもしろさ、そして歓びを共有したいという想いから、地域のスポーツ振興や青少年健全育成を目的に、小中学生をはじめ、高校生やママさんチームなどを対象とした「バレーボール教室」を開催しています。

株主優待商品のご紹介

JTでは株主の皆様に当社グループ商品のご利用を通じて、当社グループの事業をより一層ご理解いただきたいとの思いから、株主優待制度を実施しております。

2009年9月30日現在の株主様に「株主優待のご案内」と「株主様ご優待申込書（ハガキ）」を「中間配当金支払に関する取締役会決議ご通知」に同封し、11月4日に発送させていただきました。「株主様ご優待申込書（ハガキ）」に必要事項をもれなくご記入のうえ、期限（11月24日）までにお申し込みいただいている場合は、12月下旬に優待商品をお届けいたします。なお、お申し込み期限を過ぎている場合や、お申し込みいただけなかった場合は、「飲料詰め合せセット」をお届けさせていただきます。

●優待商品のお届け予定　12月下旬

※必要事項をもれなくご記入のうえ、期限までにお申し込みいただいた場合

【Aコース】 1株～4株保有の株主様　2,000円相当

今回は、下記の各商品にJTカレンダーを同封しております。

1 飲料詰め合せセット
日本たばこ産業(株)
（販売会社：ジェイティ飲料(株)）

香り豊かな、コクのある缶コーヒー「ルーツ」を中心に、厳選した飲料商品をお届けします。

2 ご飯詰め合せセット
(株)加ト吉

越後の自然に育まれたおいしい水で炊き上げた「新潟県産こしひかりご飯」と、国産のうるち米に食物繊維が含まれた大麦を25％ブレンドした「麦飯」をセットにしました。

3 ジェントリースープセット
富士食品工業(株)

素材本来の味にこだわりました。お湯を注ぐだけでお手軽においしく本格スープをお楽しみいただけます。

【Bコース】 5株以上保有の株主様　3,000円相当

今回は、下記の各商品にJTカレンダーを同封しております。

1 飲料及び新潟県魚沼産こしひかりご飯詰め合せセット
日本たばこ産業(株)（販売会社：ジェイティ飲料(株)）及び(株)加ト吉

香り豊かな、コクのある缶コーヒー「ルーツ」を中心に厳選した飲料商品と、おいしさで定評のある魚沼産こしひかりを使用した「新潟県魚沼産こしひかりご飯」のセットをお届けします。

2 ご飯詰め合せセット
(株)加ト吉

おいしさで定評のある魚沼産こしひかりを使用した「新潟県魚沼産こしひかりご飯」と、越後の自然に育まれたおいしい水で炊き上げた「新潟県産こしひかりご飯」をセットにしました。

3 ジェントリースープ及び中華調味料詰め合せセット
富士食品工業(株)

お湯を注ぐだけでお手軽にお楽しみいただける「ジェントリースープ」各種と、本格メニューからお手軽メニューまで幅広くお使いいただける中華調味料各種のセットをお届けします。

●株主優待商品発送等のお問い合せ先●

JT株主優待事務局　0120-791-187

（商品発送代行：(株)ジェイティクリエイティブサービス）　受付時間　9:00～17:00　土・日・祝日・年末年始を除く

ニュース掲示板

NEWS

●「アフィニス夏の音楽祭 2009広島」を開催

8月17〜25日、(財)アフィニス文化財団の主催による「アフィニス夏の音楽祭 2009広島」を開催しました。これは日本のプロオーケストラ・メンバーの相互交流とレベルアップの機会提供を目的として毎年行われているものです。

第21回となる今年は、これまでの長野県飯田市から新たに広島県広島市へ舞台を移して、セミナーやワークショップ、演奏会などのプログラムを実施しました。

音楽監督である四方恭子さんや指揮者の秋山和慶さん、ペーター・チャバさんをはじめ、ドイツやアメリカなど国内外から一流の演奏家を講師としてお招きしました。

これらのセミナーやワークショップの模様は一般に公開され、8月21･22日には室内楽演奏会を、23日には広島交響楽団との合同オーケストラ演奏会を開催。セミナーでの成果が存分に感じられる素晴らしい演奏が披露されました。

広島交響楽団とアフィニス音楽祭メンバーとの合同演奏会

ホルンのワークショップ

●広がる「いろいろな分煙」

「たばこを吸われる方と吸われない方との協調ある共存社会」を目指すJTでは、分煙の取り組みを広く知っていただくために、昨年夏より「分煙コミュニケーション」の広告展開を行っています。現在、テレビCMで「分煙ポリシー篇」「商業施設篇」「自分で選べる篇」「広がる分煙施設篇」の4篇が放映されています。

一口に分煙といっても、お店や施設などの状況によってその対応はさまざまです。今回のCMでは、飲食店や商業施設、JTの分煙試験室など分煙にかかわるシーンが登場し、分煙環境の整備が進み社会に広がっていること、それによってたばこを吸われる方にも吸われない方にも快適な環境となることを表現しています。

「これなら、お店に入らなくても、お店の中がわかります。」

JTグループ商品のご案内

リニューアル　ルーツ「アロマブラック ホットブレンド」

275g缶／130円（消費税別）

●従来の豊かなコクを引き出す「新じっくり焙煎」と、香り立ちが高くなる「アロマ焙煎」を併用するとともに、従来品に比べコーヒーを「低温抽出」することにより、ホットならではの「香り立ち」を際立たせました。

●キャップの側面に凹凸をつけることで、開封時のグリップ性を高めた「NEWスリップレスキャップ」を採用。さらに開けやすくなりました。

ホットでさらに香ばしいアロマを実感!

新発売　ルーツ「リアルブレンド ロイヤルミックス」

190g缶／115円（消費税別）

●贅沢に使用した「厳選高級豆」が、しっかりとしたコーヒーの「コク」と「香り」を実現。JT独自の乳技術を駆使することで、「まろやかな」ミルク感が調和し、「深く」「奥行き」のある味わいに仕上げました。

●デザインは、こげ茶と金が混ざり合う背景に、ロゴと商品名をシンプルに配置することで、「上質なコク深さ」と「絶妙な調和」を表現しました。

「大人の男」のための缶コーヒー

リニューアル　「讃岐麺一番　肉うどん」

1食入（336g）

●甘辛く煮付けたやわらかい牛肉と玉ねぎ、青ねぎ入り。旨みと甘みの濃厚つゆが、コシの強い麺を引き立てます。

●つゆは、昆布、さば節、かつお節、煮干の合わせだしに、牛肉の旨みを加えることで、コクのある深い味わいになりました。

つゆを究めて、おいしさアップ!

リニューアル　「ごっつ旨い　お好み焼」

1食入（294g）

●ご好評につき発売から10周年!!　いか、えび、たこのたっぷり海鮮素材と、国産キャベツ、国産ねぎが入った関西風お好み焼です。

●紙トレーのまま電子レンジで調理ができるので、本格的なお店の味が、手軽にご自宅でお楽しみいただけます。

たっぷり具材がさらにバランスよく!

いつでもお好きなときにJTの飲料商品をお買い求めいただけます。
JTオンラインショップ（飲料）　http://www.shopjt.com/

株式の諸手続きについて

（1）株式の諸手続きについてのお問い合せ先は？

当社株式の手続きにつきましては、原則として口座を開設されている証券会社までお問い合せください。特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合せください。

◎住所変更の手続き

株主総会招集ご通知、配当金領収証又は配当金計算書、株主優待商品等はご登録のご住所あてにお送りさせていただいております。引越し等により、ご住所に変更があった場合には、口座を開設されている証券会社へ速やかにお届出をお願いいたします。特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社へ速やかにお届出をお願いいたします。

（2）配当金の受取方法は？

◎配当金のお受取方法の種類

配当金のお受取方法については、現金受取と口座振込がございます。口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます。現金受取をご選択の株主様には、配当金領収証をお送りいたしますので、お近くのゆうちょ銀行又は郵便局でお早めにお受け取りください。口座振込をご選択の株主様には、あらかじめご指定いただいた銀行・ゆうちょ銀行等の口座に配当金が振り込まれます。また、期末（中間）配当金計算書もお送りいたします。

口座振込には以下の3通りの方法がございます。

①個別銘柄（保有する各株式）ごとに銀行等の預金口座を指定してお受け取りいただく方法

保有する株式ごとにお受け取りいただく銀行等の預金口座を分けることができます。

②保有する株式の配当金を一括して銀行等の預金口座でお受け取りいただく方法

保有する株式の配当金を一括して、登録した振込先（銀行等の口座）でお受け取りいただけます。振込先の指定は、1つの金融機関に限ります。

③証券会社の取引口座でお受け取りいただく方法

証券会社の取引口座（複数の証券会社に残高がある場合は、残高に応じて配分します）で配当金をお受け取りいただけます。特別口座をご利用の株主様はご利用できません。

◎配当金のお受取方法の変更

口座を開設されている証券会社へご連絡ください。複数の証券会社に口座がある場合も、1つの証券会社で手続きができます。特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社へご連絡ください。

（3）配当金関係の書類が届かない場合、又は配当金領収証を紛失した、あるいは払渡し期間を過ぎてしまった場合は？

上記の理由等により、配当金をお受け取りいただけなくなっている株主様は、当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行株式会社へご連絡ください。

●特別口座に関するお問い合せ先

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
フリーダイヤル　0120-232-711
（受付時間　土・日・祝日を除く　9:00〜17:00）

郵便物送付先

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号

特別口座に関する手続用紙のご請求

フリーダイヤル　0120-244-479
（三菱UFJ信託銀行株式会社24時間テレホン自動音声応答サービス）

■ 役員

取締役

取締役会長	涌井　洋治
代表取締役社長	木村　　宏
代表取締役副社長	武田　宗高
代表取締役副社長	住川　雅明
代表取締役副社長	小泉　光臣
代表取締役副社長	志水　雅一
取締役	大久保憲朗
取締役	古谷　貞雄
取締役	新貝　康司

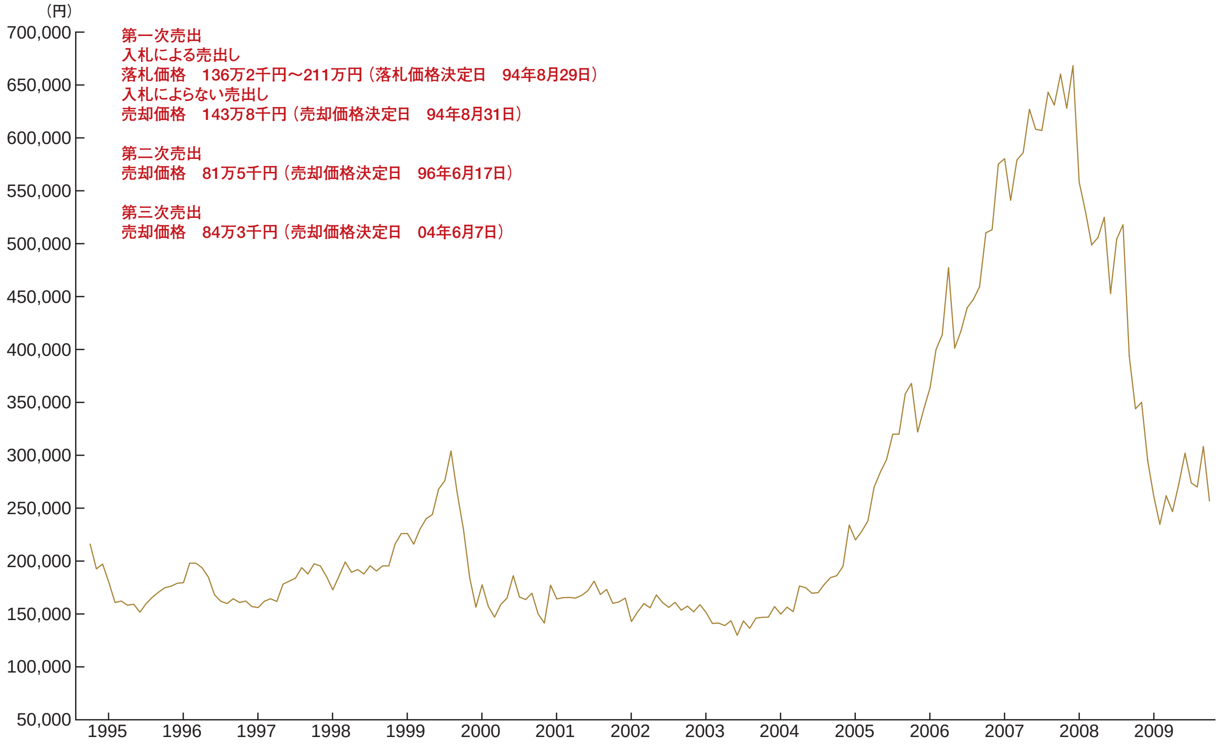
監査役

常勤監査役	立石　久雄
常勤監査役	塩澤　義介
監査役	藤田　太寅
監査役	上田　廣一

執行役員

社長		木村　　宏
副社長	（コンプライアンス・財務・食品事業担当）	武田　宗高
副社長	（企画・人事・法務・監査担当）	住川　雅明
副社長	（たばこ事業本部長）	小泉　光臣
副社長	（コミュニケーション責任者 兼 CSR・総務担当）	志水　雅一
専務執行役員	（医薬事業部長）	大久保憲朗
専務執行役員	（法務責任者）	下村　隆一
常務執行役員	（たばこ事業本部　マーケティング＆セールス責任者）	藤崎　義久
常務執行役員	（たばこ事業本部　R＆D責任者）	岩波　　正
常務執行役員	（たばこ事業本部　製造統括部長）	飯島　謙二
常務執行役員	（食品事業本部長）	古谷　貞雄
常務執行役員	（企画責任者）	岩井　睦雄
執行役員	（たばこ事業本部　R＆D責任者）	前島　宏敏
執行役員	（たばこ事業本部　原料統括部長）	村上　伸一
執行役員	（たばこ事業本部　中国事業部長）	川股　篤博
執行役員	（たばこ事業本部　事業企画室長 兼 渉外責任者）	佐伯　　明
執行役員	（医薬事業部　医薬総合研究所長）	春田　純一
執行役員	（食品事業本部　飲料事業部長）	永田　亮子
執行役員	（人事責任者）	松本　　智
執行役員	（財務責任者）	宮崎　秀樹
執行役員	（総務責任者）	千々岩良二

■ 株価の推移　1994年10月27日上場〜2009年10月　当社株価（東証終値,月間）



※2006年4月1日に1：5の株式分割を実施。2006年3月以前の株価は遡及して修正。